

## 認知グループ 1

## 平成 28 年度 第 2 回 議事録

【年間テーマ：抑制に対する認知・理解・行動】

平成 28 年 6 月 15 日提出

日付	平成 28 年 6 月 11 日 (土)			
場所	福岡ビル		記録者名：北九州八幡東病院 松本幸子	
出席者 (敬称略)	水戸病院 天雨 利江子 緑ヶ丘病院 平岡 絹江 八幡東病院 松本 幸子	東福岡和仁会病院 中川 未希 原土井病院 藤井 貴子	若杉病院 平野 敦士 津屋崎病院 山下 真智子	水城病院 小松 智美 広橋病院 宮城 のぞみ
テーマ	どこまでが抑制？			
結論	<p>家族・本人の同意がない・必要ではないのにやっている・24時間継続して行っているのは抑制と考え、少しの時間でもミトンなどを外す方向で検討することが重要。</p> <p>命に関わることは抑制が必要なこともある。職場によって抑制に対する基準が違う為、スタッフの抑制に対する考え方も違って来る。また、利用者・患者の状態などが職場によって違う為、対応も違う。</p>			
決定事項	<p>現在、抑制を行っている施設・病院はミトンを外す時間を増やす、柵を4本から3本にしてみるなどの検討を行い、実施してみる。</p>			
備考	議事録送信者：北九州八幡病院：松本 幸子			
次回討論項目	<p>どこまでがスピーチロック？</p> <p>今より少しでも良い方向へチャレンジしてみた方法と結果報告</p>			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス [info@fukuokakenryo.jp](mailto:info@fukuokakenryo.jp)

(FAX.092-691-3961)